

JCRB 細胞バンク

Reception number	Reception data	担当者名
医薬基盤研究所研究倫理審査委員会（承認 脚下）	決定日	細胞バンク記載欄

JCRB 細胞バンク研究倫理クリアランス

ヒト由来培養細胞研究資源寄託

JCRB細胞バンク

国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所

〒567-0085大阪府茨木市彩都あさぎ7-6-8

電話072-641-9851/FAX072-641-9859

e-mail:jcrb-cell@nibiohn.go.jp

科学技術庁による「ヒトゲノム研究に関する基本原則(2000. Apr. 11)、第9項」ならびに厚生省の「遺伝子解析研究に付随する倫理問題等に対応するための指針(2000. Feb. 4)、第6項、第7項」に基づき、細胞バンクに寄託できるヒト由来細胞は次の2条件を満たすことが義務付けられることになりました。

- 1) 匿名化されたうえで試料提供者個人を特定できない(アンリンク)細胞であること(Coded Unlinked Sample) *1
- 2) 生体試料採取時に試料提供者から研究利用への承諾を文書で得ていること*2

*2000年4月より前に取得された試料の場合はこの条件のうちの2)は適応されません。

同意書については、写し等を添付する必要はありませんが、監査等により提出を求められることがありますのでご注意ください。

細胞名(*3)	由来組織	生体試料採取年月日(*4)	承諾書の有無(*5)	匿名化(*6)	アンリンク(*7)
			有 無		
			有 無		
			有 無		
			有 無		
			有 無		

*1 細胞の匿名化は英語の coded を指します。細胞の名称その他が暗号化されているという意味で、ここから細胞提供者を推定することが不可能であることが必要です。また、提供者個人を特定できない細胞は英語の Unlinked を意味し、細胞樹立者、寄託者、細胞バンクのいずれにおいても個人を特定できる情報が破棄されていることを意味します。

*2 採取された生体試料を研究等に利用する場合には提供者に主旨を説明した後、提供者または代諾者から承諾を得ること(Informed Consent)が義務付けられました。したがって、細胞バンクではそれに沿った取り扱いを致します。

*3 細胞名には試料提供者名(個人識別情報)を推定できない名称を付けて下さい。

*4 提供者またはその代諾者によるヒト由来試料の研究利用に関する承諾は2000年4月以降採取されたヒト由来試料について適用されますので生体試料採取年月日をご記入下さい。もし、正確な日にちが不明である場合はおよその年月日をご記入下さい。

*5 承諾書の提出は不要です。承諾が文書で得られているか否かのみ明記して下さい。承諾書が保存されている場合のみ、「有」に○を付けて下さい。

*6 細胞の寄託に際して提出される情報の中に、提供の個人情報を推定できる情報が含まれていない場合はこの欄に○印を付けて下さい。

*7 寄託細胞は細胞寄託者の研究機関内においても、また提供する情報においても個人を特定できるような情報が一切取られていない(アンリンク)場合○印を付けて下さい。

寄託者所属研究機関における倫理審査委員会(参考)

寄託者の所属する研究機関における倫理審査委員会の有無:(有 無)

有の場合 委員長氏名

上記の記載事項に相違ありません。

年 月 日

細胞寄託者 所属

氏名

印